

どう冬休みを過ごしますか

三者懇談が終了しました。“進路希望確定書”は全員提出してもらえましたか。いよいよ冬休みを迎えますが、どのように過ごしますか。

この冬休みをどう過ごすか、自分のやるべきことは明確に把握できていますね。決定した目標に向かって全力で立ち向かう時です。全力で頑張れば悔いは残らないでしょう。具体的な取り組みの中身は各自で違ってくると思います。いろんな方法を参考にして、最大限の力が発揮できるように工夫してください。

●具体的にに取り組むべきことを示します。自分に当てはまる取り組みをしっかりと頑張ってください。

①作文の練習をする

入試で作文が課せられる人は、練習が絶対に必要です。いきなりその場で書こうと思ってもなかなか書けないものです。去年の課題を参考に書きましょう。また、書いた練習作文は担任の先生に、早めに見てもらいましょう。書き直しをしたり、題を変えて書いてみることで、書き方のコツがつかめるようになってくればオッケーです。

②面接の受け答えを考える

入試で面接が課せられる人は、想定される質問に対する答えを考えておきましょう。“志望理由”や“中学校生活で印象に残っていること”は、よく聞かれる質問です。どう答えるのか、必ず準備しておきましょう。去年の面接質問例を、志望校に合わせて配布します。参考にしてください。1月には面接練習を実施します。そのときには、しっかり答えられるようにしておきましょう。

また、服装も整えておきましょう。ボタンは取れていないか、ほつれや汚れはないか確認し、入試に臨める状態にしておいてください。



③ひたすら勉強する

言うまでもありません。もはや、授業態度をよくしても、提出物を頑張っても、12月の成績を変えることはできません。報告書の成績は変えられないのです。つまり、合格の可能性を高めるためには、入試当日のテストで少しでも多くの得点をとれるようにするしかないのです。

学習確認プログラムの結果はどうでしたか。模試を受けた人は結果はどうでしたか。得点力が伸びてこないという悩みを抱えている人も多くいると思います。あせらず、落ち着いて勉強に取り組み、「よくあれだけ勉強したなあ。」と、あとで振り返れるほど勉強に没頭してみてください。

「どんな勉強をすればいいかわからない」などとまだ言っている人はいませんか。もうこの時期は、問題演習につきます。過去問や問題集などでたくさん問題を解くことが一番です。初めはわからなくても、何度も解きましょう。たくさん解いているうちに、同じような問題が出題されることに気付くはず。そうなれば、得点力もおのずと上がってくることでしょ。

自分で自分をほめることができるほどやれば、達成感も大きくなります。合否はその結果ついてきます。悩んでも仕方ありません。人のことは気にせず、自分の目標に向かって前進あるのみです。

④願書の下書きをする

私立高校を受験する人と公立高校前期選抜を受検する人は、願書のコピーを配布します。下書きをしておいてください。年明けには清書をします。

1月5日には、全員が元気な顔で、「冬休み、自分がやれるだけのことはやった！」と言えるようになってください。今のみんなにとって、精一杯やることが残されている道だと思います。ファイトです！！

年明け1週目・2週目の主な進路日程

冬休み中	<ul style="list-style-type: none"> ・私立、公立前期の願書の下書きをしておく ・過去の出題例を参考に、面接や作文の練習をしておく
1月 5日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業再開 ・私立、公立前期の願書の下書き提出
1月 6日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・6限：私立願書の清書 ⇒ 週明け10日（火）朝学活で提出 持ち帰り、保護者名の記入をしてもらう 受験料の振込をしてもらう ⇒ 振込証明書は13日（金）までに提出をお願いします （各高校によりますが、およそ2万円です。ご準備よろしくをお願いします。）
1月10日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・私立願書の清書提出 振込証明書は13日（金）までに提出 （間に合わない場合は、必ず連絡をしてください） ・4限：公立前期願書の清書 ⇒ 翌日11日（水）朝学活で提出 持ち帰り、保護者名の記入をしてもらう 検査料の2200円の封筒も一緒に持ち帰る ⇒ 検査料は16日（月）までに提出をお願いします ・特別事情具申の申請 ～13日まで（前期選抜） ～20日まで（中期選抜）
1月11日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・公立前期願書の清書提出 ・テスト前学習会 ～17日
1月12日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・私立願書点検
1月13日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・私立、振込証明書の提出締切
翌週以降	<ul style="list-style-type: none"> ・公立前期選抜検査料2200円の提出締切（16日） ・公立前期選抜願書点検 ・私立高校出願 ・定期テスト④（18日～20日） <p style="text-align: right;">などなど・・・</p>

※冬休み中に私立高校の受験料の振込をお考えのご家庭は、振込用紙をお渡しいたしますので、明日22日朝学活時に生徒本人を通じてご連絡ください。

私立高校の出願について

中学校からの持参による一括出願が可能な高校については、中学校から出願します。

（京都市内の多くの私立高校は可能です）

その場合、出願封筒や受験票返信用封筒に切手を貼っていただく必要がない場合があります。

出願書類については中学校で準備をしていますが（1月6日配布予定）、説明会などに参加され、すでに
出願書類をお持ちの場合でも、切手はまだ貼らないでください。

生徒個人が持参して出願する学校や、郵送のみで出願を受け付けている学校、
他府県など遠方の学校については、個人で出願をしていただく予定です。